

楓と閑古鳥

ミノムシ

冷たい風をぱくぱくと
食べながら 小鹿のように
はねていく少女たち
少し暖かくなった風にあたって
ミノムシは
自分の厚着にふと気づく
いつからミノムシになったのだろう